

米子市立淀江小学校福祉教育の取り組み

～やさしさに包まれた学校づくり～

指導の重点

- 人間尊重の精神を基盤として「福祉の心」を養う。
- 福祉に対する関心と理解を深める。
- 人のために尽くすことに喜びを感じ、進んで活動しようとする実践的な態度を育てる。

【5/9 栽培委員会による花の苗植え】

栽培委員会の5,6年生が地域のボランティアの方と一緒に花の苗を植えました。プランターは中庭に並べられ、新しくできたメダカ池とともに淀江小の子どもたちの憩いの場を彩っています。



【福祉委員会ベルマーク整理】

朝、福祉委員会の当番の5,6年生がベルマーク整理に取り組んでいます。全家庭から集まったベルマークを企業ごとに仕分けするのは手間がかかりますが、おしゃべりをしながら楽しく作業をしています。

学期末懇談の際には保護者の方にも協力をお願いしています。



【9/10 4年生高齢者体験】

4年生が「つばかみ学習(総合的な学習の時間)」で高齢者体験をしました。

普段何気なく生活している校舎内にも障がいとなるものがあることや相手を思いやる声かけや介助で安心して過ごせるようになるということに気づきました。



淀江中学生会の呼びかけにより、5、6年生有志が地域清掃に参加しました。今年度は「淀江支所」「淀江運動公園」「淀江駅」の3カ所に分かれて、中学生と一緒に一生懸命取り組みました。集めたゴミや草は何十袋にもなり、軽トラックで回収を手伝っていただきました。

【10/29 小中合同地域清掃ボランティア】

